

安楽だより



第346号

発行責任者：校長 小峯 三朗

発行年月日：令和8年2月18日

もう一人の自分と向き合い、よりよく生きる力を育てる「節分」 ～「こわさ」が教える道德の芽と、安心の中で育つウェルビーイング～

校長 小峯 三朗

春の気配が少しずつ感じられる2月、子どもたちは毎年恒例の山宮神社での節分祭に招かれ、鬼の登場に驚きながらも、元気いっぱいに豆まきを体験しました。昨年参加した今の2年生も、当時は「鬼が来るよ」という先生の言葉に、思わず背筋を伸ばしていた姿が思い出されます。

私たちが子どもの頃には、悪いことをすると閻魔大王が生前の行いを裁き、地獄へ連れて行くという話を聞かされ、また「お天道様が見ているよ」と言われながら、どこかで見えない存在が自分の行いを見守っているように感じていたものです。全国には、子どもの健やかな成長を願う来訪神の文化が今も息づいています。薩摩川内市飯島の「トシドン」、悪石島の「ボゼ」、南さつま市金峰町の「ヨッカブイ」など、地域ごとに姿は違っても、子どもたちに『生き方の節目』を伝える存在として大切に受け継がれてきました。



【山宮神社での節分祭】

時代が変わり、生活の中から『こわい存在』が少しずつ姿を消していく今でも、子どもたちの心には、『自分の弱さや迷いに向き合わせ、心のブレーキ役となる、もう一人の自分』がいます。節分は、その存在と向き合い、自分の中にある弱さや迷いに気づき、それを乗り越えようとする心を育てる大切な機会でもあります。

道德教育では、善悪を判断し、よりよい行動を選ぼうとする力を育むことが重視されています。節分の豆まきは、単なる行事ではなく、「弱い自分に負けない」「思いやりをもって行動する」という心の成長を象徴する体験です。怖さを感じながらも、信頼できる大人に見守られ、安心できる環境の中で、自分の気持ちを整え、前向きに生きる力『ウェルビーイング』の基盤が育まれていきます。

地域の方々に支えられながら、子どもたちが季節の行事を通して心の強さと優しさを育んでいくことに、改めて感謝の気持ちを抱きます。今年も、豆まきの元気な声が、子どもたちの心の成長をそっと後押ししてくれたことでしょう。

キラリ輝く安楽っ子！～志の言の葉スピーチコンテスト出場者～

- 1年 山本 千咲 作文題「へいわなせかいに」：ジャンル「平和」
- 2年 小森 大也 作文題「お母さんありがとう」：ジャンル「保護者へ」
- 2年 福岡 和羽 作文題「おじいちゃん、おばあちゃんへ」：ジャンル「家族へ」
- 3年 徳留 莉帆 作文題「わたしのおじいちゃん」：ジャンル「家族へ」
- 5年 中山 杜甫 作文題「ぼくのひいおじいちゃん」：ジャンル「家族へ」

※ 3月7日(土)12時～ 志布志市文化会館にて、スピーチで表現します。

3月行事

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
					PTA送別会	水修了式・離任式	火第80回卒業式	月特別校時・卒業式練習			金春分の日	木計算力テスト・卒業式準備	水学級裁量・卒業式予行・ぶくぶくタイム	火キャリアパス	月特別校時			金係・委員会活動・卒業式練習	木漢字力テスト・代表・児童保健委員会	水全校集会(表彰)・卒業式練習	火ふれあい・PTA生活指導部見守り(〜13)	月特別校時・卒業式練習			金お別れ遠足・6年生を送る会	木心のアンケート	水振り返りアンケート・ぶくぶくタイム	火学級裁量・避難訓練(シヨート)	月特別校時・持久走予備日	日第3回PTA愛校奉仕作業

《安楽の魅力、再発見！》

～安楽山宮春祭り～

2月14日(土)に行われた安楽山宮の春祭り。毎年、数名の児童が踊りと演奏で参加しています。そして、今年も春祭りの正月踊りを全校児童で見学に行きました。

春祭りはその年の豊年を祈願する祈年祭で、正月踊りは九つの踊りで構成されているとのこと。黒装束で身を固め、腰には手拭、サルノコ人形を下げて踊り、最後は早いテンポのにぎやかな踊りで締めくくられます。また、県の無形文化財にも指定されており、身近にこんなに素晴らしい文化が残っていることを改めて嬉しく思いました。

春祭りの他にも安楽にはよいところがたくさんあります。自分たちが住んでいる町をもっと好きになり、どんどん魅力を発見していきましょう！



《最後まで頑張ります！！》

～持久走体験教室～

2月27日(金)に開催される持久走大会。体育の時間は本番に向けて練習する姿も見られるようになりました。そして1月30日(金)は持久走体験教室を実施。県下一周駅伝に参加し、安楽小学校の保護者でもある加治屋毅さん、鮎川俊一さんが講師として来てくださいました。

腕の振り方や呼吸の仕方を教えてもらい、走り方もこれまでと少し変わったようすの子供たち。中学年は5分間、高学年は10分間走に挑戦しましたが、いつもより軽やかに走れたようです。教わったことを生かし、本番では全員が最後まで頑張る姿を応援しています。



《「鬼は外」「福は内」でみんな元気に ～安楽山宮神社「節分祭」～》

2月3日(火)は安楽山宮神社で節分祭が行われ、1年生が参加してきました。昨年度から安楽保育園と安楽小学校の1年生が招待され、豆まきを行っているそうです。

赤鬼と青鬼の登場に怯える様子も見られましたが、全員で一糸懸命に鬼を退治しました。泣いている友達に「僕が守るからね。」と頼もしい言葉も。みんなで力を合わせて鬼退治する姿が微笑ましかったです。

豆まきをして、それぞれが自分の中の鬼も退治できた1年生。これからの成長がますます楽しみになってきました。



《一緒に楽しく学びましょう》

～居住地交流～

2月6日(金)に牧之原特別支援学校の4年生、久永琉愛さんが居住地交流で安楽小学校に来てくれました。

2校時は特別支援学級で節分を、3校時は4年2組の子供たちとゲームを楽しみました。明るく元気いっぱい琉愛さんにたくさんの元気と笑顔をもらい、全員が楽しい時間を過ごすことができました。

安楽校区に住んでいる琉愛さんとは、学校以外で会うこともあることでしょう。これからも同じ校区の友達として、仲を深めてくれると嬉しいです。

